

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年12月13日(17:30~20:30)
1. 初期支援(はじめのかかわり)	メンバー	13人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	おおよそ できている	あまり できていない	全く できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組むことができましたか?	8人	8人	1人	人	17人

前回の改善計画	利用前のアセスメントシートと違う点や新たな気づきは赤ペンで書き込み共有し、対応する。気になることがあればその日のうちに確認する。朝礼時、気づきノートを確認したらすぐにサインするよう何度でも声掛けする。
前回の改善計画に対する取組み結果	赤ペンで書き込むことはしなかったが、様子には注意して関わることが出来、共有に努めた。気づきノートへの確認サインの声かけの徹底は難しかった

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	おおよそ できている	あまり できていない	全く できていない	合計(総人数)
①	利用者の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じてスタッフ間で共有できていますか?	8	8	1		17
②	サービス利用時に、利用者や家族・介護者が、必要としている支援ができていますか?	6	11			17
③	利用者がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	8	9			17
④	利用者を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりができていますか?	8	9			17

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
新しく利用される利用者さんがひとりさみしい思いをされないように積極的に声掛けし、コミュニケーションを図った。また、ご家族様にも安心してご利用いただけるよう意識して話しかけ、より良い関係づくりに努めた。新たに得た情報の共有に努めた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
利用開始前の情報共有が全ての職員に徹底できていない。9時から13時までの勤務職員は朝礼に参加できないので、アセスメントシートだけでは詳細に理解できないこともある。気づきノートで確認してもサインすることを忘れてしまう職員はいつも同じ、声掛けも徹底できていない。何度も言いたくない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
利用開始前の利用者情報をすべての職員が理解できるよう、また、休日の職員や夜勤職員、パート職員への情報提供の時間をしっかりとる。新たな気づきの共有を徹底する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年12月13日(17:30～20:30)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 13人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	おおよそ できている	あまり できていない	全く できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組むことができましたか?	4人	12人	1人	人	人

前回の改善計画
生活動作のひとつひとつに時間を要しても、自分で出来ることの喜びを持ち、機能の維持、在宅生活の維持に努める。食べてみたいもの、作ってみたいもの、行きたいところなどみなさんが楽しく参加出来るよう、ひとりひとりにあった活動を工夫する。その日の利用者様全員と少しの時間でも話す時間をもつ。
前回の改善計画に対する取組み結果
お菓子作りや調理等を通して機能の維持、楽しい時間を過ごされた。生活動作の機能維持にも努めたその日の全ての利用者様との時間を持つよう意識した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	おおよそ できている	あまり できていない	全く できていない	合計(総人数)
①	「利用者の長期的な目標(ゴール)」が理解できていますか?	2	15			17
②	利用者の短期的な目標「～したい」が理解できていますか?	3	14			17
③	利用者の短期的な目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	3	13	1		17
④	実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かすことができていますか?	5	10	2		17

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	お菓子づくりのメニューやお出かけ先など利用者様の希望をきいて行うことが出来、楽しく過ごされた。カラオケが好き、お菓子作りが好きなど、得意なことや好きなことが活動を通して発見できた。時間を要しても基本動作を維持できるよう、声かけし対応するよう努めた。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	訪問担当の日は出たり入ったりで、ゆっくり利用者様と話す時間が持てなかった。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	活動を通して新たな発見があったので、その機会を増やし生き生きと楽しく過ごしていただく。利用者様が時間を要しても出来たことへの達成感や満足感を得られるよう関わる。ご家族様にも伝え、共有する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年12月13日(17:30～20:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 13人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	おおよそ できている	あまり できていない	全く できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組むことができましたか?	6人	11人	人	人	17人

前回の改善計画
独居の方の自宅での様子(特に食事面、排泄面)を一つでも多く理解できるよう訪問時の自宅の様子を観察する。利用者さんの日々の様子を観察し、いつもと違うと感じた時はご家族、介護職、看護職、ケアマネと共有し対応する。
前回の改善計画に対する取組み結果
独居の方の自宅での様子に注意し職員間で共有できた。体調の変化時には速やかに対応できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	おおよそ できている	あまり できていない	全く できていない	合計(総人数)
①	利用者の「以前の暮らし方」を把握できていますか?	6	8	3		17
②	利用者の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	10	7			17
③	ミーティングにおいて、利用者への日々のかかわり方や記録を共有できていますか?	9	7	1		17
④	利用者の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度利用者とスタッフで共有できていますか?	10	7			17
⑤	利用者の気持ちや体調の変化に気づき、即時的に支援できていますか?	10	7			17

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	日々の様子に注意し、都度共有出来ていた。体調の変化時には職員間で速やかに状況共有でき、対応できた。また、主治医との連携も上手くできた。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	パート職員は、事業所での関わりしか持てないので自宅での様子等がわかりにくい。利用者様の思いをきちんと聞かず先走って答えたり、行動してしまった。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	自宅でどのように過ごされているのか、自宅での様子に注意し、新たな支援や気づきがあれば共有する。役割を持つ楽しみを継続する。

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和5年12月13日(17:30～20:30)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	13人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組むことができましたか?	9人	8人	人	人	17人

前回の改善計画	地域での活動に参加されている利用者さんには、その関係性を持ち続けられるよう支援する。事業所として参加できる文化祭、地域の行事等には可能な限り参加する。新型コロナウイルス感染対策に努めた上で、利用者さんの行きたい場所、興味のある場所等へ外出する。
前回の改善計画に対する取組み結果	文化祭へ作品を出展。他の出展作品をみて感動されていた。地域行事や利用者さんの行ってみたい場所にお出かけできた。買い物も職員が代行するだけでなく一緒に行かれ、商品を選び支払いもご自分でされ喜ばれた。行きつけの美容師さんとの関りも継続できた

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	おおよそできている	あまりできていない	全くできていない	合計(総人数)
①	利用者の自宅や地域での暮らしを知っている家族や近所・知人等の人間関係等を理解できていますか?	4	10	3		17
②	利用者と、家族・介護者や地域との関係が切れないうちに支援ができていますか?	6	11			17
③	利用者の地域での役割や生き甲斐、これまでの人生で培ってきた、支えたり支えられたりする関係性を分かっていっていますか?	5	12			17
④	利用者と周囲(近所・知人等)とのかかわりを調整し、民生委員や地域資源(※)を把握して、それを活かして利用者を支えていますか?	5	12			17

※NPO法人/ボランティア団体(ex 認知症カフェ)、介護事業者、医療関連、民間企業(ex 介護タクシー、配食サービス)、行政(ex 包括支援センター、社協)、制度(ex 生活保護、成年後見人制度)、サロン、行きつけの店 等

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
限られた方ではあるが、地域資源の利用やご近所さんや行きつけの美容師さん等との関りを持ち続けられることが出来た。文化祭への参加、コンサートや地域での催しなど行ってみたいところへのお出かけができた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
独居の方や日中独居の方が増え、また、移動能力の低下によりご近所さんとの関りが薄くなっている。関係性の理解に努めたが、継続は難しくなっている。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
今までの関りを継続できるよう機能維持に努める、また、日々の様子について観察し、関係機関と共有を図る。地域での催し等に参加し地域の方との関りを持ち続ける。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年12月13日(17:30～20:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 13人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	おおよそ できている	あまり できていない	全く できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組むことができましたか?	7人	9人	1人	人	17人

前回の改善計画
短時間でも1日の業務を振り返る時間を作り翌日につなげる。午睡後の業務の流れを見直し、午睡後の様子にもれがないよう記入する。利用者さんの日々の変化やご家族の介護状況の変化も職員間で共有をしながら柔軟に支援する。
前回の改善計画に対する取組み結果
業務を見直し、時間を作るように努めた。全員そろって1日の業務を振り返ることは出来なかったが、気づきノートで翌日への申し送りを行った。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	おおよそ できている	あまり できていない	全く できていない	合計(総人数)
①	事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援ができていますか?	7	10			17
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供できていますか?	10	7			17
③	日々のかかわりや記録から利用者の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	9	8			17
④	その日・その時の利用者の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	11	6			17

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
当日の処置の予定や受診の予定など付箋を活用することでスムーズに対応できた。利用者さんやご家族の状況により都度サービスを調整し対応できた。状況に応じて施設入所等つなげた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
排泄表への記載に漏れが多かった。午睡後からのケースへの記載時間の確保が難しかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
排泄表を見直す。午睡後の記録について、内容は簡潔に、記載漏れがないよう意識する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年12月13日(17:30～20:30)

6. 連携・協働

メンバー 13人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	おおよそ できている	あまり できていない	全く できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組むことができましたか?	7人	10人	人	人	17人

前回の改善計画	日々の様子に注意し、在宅生活を維持できるよう関係機関と連携を図る。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者様の様子について注意し、社協さんやあんしん支援センターはじめ、都度他事業所、医療機関と連携を図り支援できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	おおよそ できている	あまり できていない	全く できていない	合計(総人数)
①	利用者が自宅や地域での暮らしを継続するために、事業所は各サービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)と連携できていますか?	8	9			17
②	日常生活圏域の中で、事業所は自治体や地域包括支援センターと連携できていますか?	8	9			17
③	事業所は、地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	5	12			17
④	地域包括ケアの拠点として、登録者に限らず高齢者や子ども等の地域住民が事業所へ遊び等訪れる体制ができていますか?	3	11	3		17

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用者様の生活状況について関係機関と共有し、柔軟に支援できた。地域の活動も再開し、参加することが出来た。新型コロナウイルス感染症は5類に移行したので、基本的な予防対策をしたうえで、ボランティアさんに来ていただいた。園児さんと外での交流は出来た。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ボランティアさんや見学のかたなど限られた方しか来所はなかった。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 地域での行事に積極的に参加する。利用者様に関わる機関との連携をより深め、必要な支援につなげる。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年12月13日(17:30~20:30)

7. 運営

メンバー 13人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	おおよそ できている	あまり できていない	全く できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組むことができましたか?	3人	14人	人	人	17人

前回の改善計画	業務内容や業務環境等について都度話し合い、働きやすい環境づくり、より良いサービスにつなげる。夕方の時間、職員がしっかり対応できるよう時間の流れを確認する。インスタを活用し、事業所の活動をより多くの方に知ってもらう。
前回の改善計画に対する取組み結果	業務の流れについて、気付いたことはその時対応するように努めた。インスタの活用は十分ではなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	おおよそ できている	あまり できていない	全く できていない	合計(総人数)
①	スタッフとして自ら、より良い職場環境づくりに向けた話し合いや提案ができていますか?	6	10	1		17
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を事業所の運営に反映していますか?	6	10	1		17
③	地域の方からの意見や苦情を事業所の運営に反映していますか?	5	10	2		17
④	事業所が地域に必要とされる拠点であるために、登録者以外の地域の困りごとに気づいたり一緒に考えたりするよう努めていますか?	3	10	4		17

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 職員が働きやすい環境になるよう、業務について話し合い、改善に努めた。インスタを活用するようになった。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 私語が気になる。業務について関わる職員に偏りがあったように思う。インスタは年度途中からパスワードが入力できなくなり、そのままになっている。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 全ての業務に対して職員に偏りがなく、全職員が全体を常に意識して、声掛けしながら率先して行う。インスタを再開、継続し事業所の活動をお知らせする。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年12月13日(17:30～20:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 13人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	おおよそ できている	あまり できていない	全く できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組むことができましたか?	4人	13人	人	人	17人

前回の改善計画	施設内研修は年間計画をたて実施する。ヒヤリハットを報告し、全職員で共有し原因、対策について話し合い再発防止に努める。リスクマネジメントを行い、防げる事故を防ぐ。Wi-Fi環境を整える。
前回の改善計画に対する取組み結果	施設内研修は毎月実施している。認知症介護実践者研修に参加出来た。ヒヤリハット報告書が少なかった。Wi-Fi環境を整えた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	おおよそ できている	あまり できていない	全く できていない	合計(総人数)
①	事業所では、事業所全体の質の向上につなげるため職場内外の研修が計画・実施されていて、参加し易い環境づくりができていますか?	4	13			17
②	個人の質を向上するために、資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか?	5	7	5		17
③	事業所の質を向上させるために、都道府県や市町村レベルの地域連絡会や事例検討会にスタッフが参加し、事業所内で情報共有ができていますか?	3	11	3		17
④	予測されるリスクに対し予防的な対応をスタッフとして意識的に取り組んでいますか?	6	11			17

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
毎月の職員会議で研修を実施している。施設外研修は、限られた研修のみ参加。Wi-Fiを使用できるようになり、利用者様にYouTubeを視聴してもらえた。リスクマネジメントを理解し事故予防につなげた。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
ヒヤリハット報告書が少なく、事業所内での事例検討が十分にできなかった。施設内研修に夜勤等で参加出来なかったとき、資料だけではわからないことがある。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
ヒヤリハット報告書を1階2階とも目につきやすい場所に置き、速やかに記入する。ヒヤリハットを共有し事故を未然に防ぐ。施設内研修に参加できなかった職員に、資料とともに説明も行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和5年12月13日(17:30～20:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 13人

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	おおよそ できている	あまり できていない	全く できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組むことができましたか?	6人	11人	人	人	17人

前回の改善計画
利用者さんや家族さんのこと、サービスに関することなどを話す時は、時と場所が適切であるかを常に意識する。自分の言動が利用者さんの行動を制限していないか振り返る。周りの職員も気づいたら一言声を掛ける。
前回の改善計画に対する取組み結果
言葉遣いやその人にあった声掛け、話す場所を意識してできた。入浴時や排泄時、利用者様が恥ずかしくないよう意識して対応できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	おおよそ できている	あまり できていない	全く できていない	合計(総人数)
①	家族等への同意なく利用者に対し、拘束(フィジカルロック、ドラッグロック、スピーチロック等)につながる行為を事業所として行っていない。	10	7			17
②	事業所において、意識的・無意識的にかかわらず虐待(幼児化・非人格化・非人間化も含む)は行われていない。	13	4			17
③	プライバシーが守られている。	10	7			17
④	判断能力の不十分な方に対して、保護し支援する成年後見制度について説明ができ、必要な方があれば制度につなげることができている。					該当者なし
⑤	適正な個人情報(特定の個人を識別できるデータベース化されていない書面・写真・音声等も該当)の管理ができている。	8	9			17

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	入浴や排泄介助時、恥ずかしい思いをされないよう意識して対応できた。言葉遣いやその人にあった声掛けをするよう意識した。利用者さんの立場になって考え、行動するようになった。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	私語が多く、自分のことじゃないかと利用者様に不安を与えたのではないかと反省した。周りを確認せず話してしまったことがある。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	介助を行う際、特に入浴・排泄介助時は介護者の都合が優先しないよう、利用者様の立場に立ち、特に注意して行う。日々の言動を常に意識する。

小規模多機能型居宅介護「令和5年度サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 あすなる会	代表者	竹内一夫	法人・ 事業所 の特徴	ほぼ同敷地内に法人の保育園、福祉施設があります。園児さんとは、法人行事を通してだけでなく日頃より交流があり、園児さん利用者さん双方にとって心と良い時間となっています。笑顔がたくさん見られるよう家庭的な雰囲気大切に、役割のある喜びを感じていただき、季節の行事やお出かけ、料理、お菓子作りなどとりいれています。家族さんもゆとりをもって介護できるよう状況によっては都度必要なサービスを柔軟に提供し、在宅での生活を日々かわりなく過ごされるよう支援します。
事業所名	あすなる 多機能型居宅介護施設	管理者	飯塚久代		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所スタッフ	その他	合計
	1人	1人	1	0人	欠席	1人	1人	3人	人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	日々気づいたことがあれば都度、話し合い改善すべきことは改善する。対応についても都度状況を共有する。職員会議時に改めて共有出来ているか確認する。気づきノートにチェック欄をつくり徹底する。	日々の気づき等、都度話し合い対応できた。気づきノートへの確認サインをしない職員はいつも同じ。	常勤職員、パート職員全員が事業所自己評価に取り組んでいた。また、職員会議時等に業務についての振り返りや改善を行っている	利用者さん、ご家族さんの生活を維持できるよう小さな気づきをも見逃さず、共有する。また、職員が働きやすい環境を維持できるよう振り返り、改善していく
B. 事業所のしつらえ・環境	利用者さんの希望を聞いて新たな野菜や花を育てる。稲とさつまいもの収穫が出来るよう再チャレンジ。ホール内の花や毎月の作品、花壇の花の管理など季節を感じて過ごしていただく。	今年はポップコーンを作ろうと、とうもろこしを栽培したが、全て害獣に食べられてしまった。利用者様ひとり鉢に花苗と球根を植えられた。1階2階に季節ごとの壁面制作、役割分担し取り組まれている。	トウモロコシ全滅は残念だったが、野菜を育てることの楽しみは得られたと思う。来年度はどんな野菜を育てられるか楽しみである。季節ごとの壁面制作も役割分担により、みなさんが取り組まれている	野菜作りや花壇の管理、壁面づくり、メダカの飼育など利用者さんが楽しみをもって取り組まれるよう支援する。
C. 事業所と地域のかかわり	高松コミセンの文化祭への参加、地域行事の情報を集めて参加する。ボランティアさんの受け入れを、状況をみながら再開し交流を図る。多機能新聞やインスタを活用し多機能を知っていただく。	文化祭への作品出展。当日の利用者様見に行かれる。抽選は外れました。敬老会、クリスマス会にボランティアさんに来ていただいた。外出行事にもお手伝いいただきました。インスタを活用し活動の様子をみていただく。	ボランティアさんとの交流が復活し、楽しい時間を過ごされた。週報やロコミで得た情報をもとに出かけた際や施設周りでの散歩時に地域のかたと短時間でも交流を図れた。	高松コミセンの文化祭や地域での行事に可能な限り参加し、地域の方との交流を図る。行事だけでなく、日々の活動時にもボランティアさんとの交流を図っていきたい。
D. 地域に出向いて利用者の暮らしを支える取組み	楽しみを持っていただけるようたくさんお出かけする。地域の方との交流を持ち続けられている方はその関係を維持できるよう支援する。	日々、利用者様に行き先を聞きながら積極的にお出かけし喜ばれる。ひとりでの外出が困難になり、ご自分から出向くことが出来なくなられた利用者様が増えた。	独居であったり身体状況により、地域との関りが難しくなっている。今出来る範囲での関りを維持して欲しい。	地域での行事等に参加し地域の方との交流を図る。また、保育園児さんとの交流も再開し交流を図る。日々の活動が日常生活の一部になるよう努める
E. 運営推進会議を活かした取組み	報告事項での検討ばかりでなく、議題以外での意見や事業所の改善点、地域でのことなどについて意見を求める。	地域の防災への取組みや状況、地域での催し等など教えていただいた。職員が参加できない回もあった。	利用者家族さんの参加はなかった。台風接近時や線状降水帯の影響があった際の地域の状況等共有できた。	事業所の取組みだけでなく、地域での課題について出来ることはないか、一緒に取り組んでいきたい
F. 事業所の防災・災害対策	年間計画にそって訓練を行う。事業継続計画を作成する。台風や豪雨時、地震発生時の取組みを職員ひとり一人が確認し、振り返る。	年間計画にそって実施。災害時のBCPは修正中。	計画にそって実施している。今年度も線状降水帯による大雨の影響があったが、その際サービスの変更等により利用者、職員の安全を図った	年間計画に沿って訓練、確認を実施。また、事業継続計画の確認のために机上訓練等実施し、目的や手順を確認する。